

コード No. 10347

**Anti-Human
KDR (23B31) Mouse IgG MoAb**

容量 : 100 µg

- はじめに : KDR (2型受容体)は Fik-1 ともよばれ、血管新生およびリンパ管新生の主要な促進因子である VEGF の受容体の一つです。この受容体としては他に Flt-1 (1型受容体)が知られており、特にヒト血管内皮細胞のシグナル伝達において重要な機能を担っていると考えられています。Flt-1 と KDR/Fik-1 は VEGF と結合後、協調して血管内皮細胞を刺激していると考えられています。
本モノクローナル抗体は、ウエスタン・ブロッティング、免疫沈降試験により、KDR を認識し、KDR 発現細胞に対する FACS 解析も可能です。また、本抗体の添加によって、リガンド結合に依存的な KDR のリン酸化が誘導されないことも確認されており、中和抗体として使用していただけます。
- 免疫抗原 : Human KDR の細胞外領域のリコンビナントタンパク質
- 起源 : マウスxマウス ハイブリドーマ (培養上清)
(X63 - Ag 8.653 x BALB/c マウス脾臓細胞)
- クローン名 : 23B31 サブクラス : IgG₁
- 精製方法 : Protein A による特異精製
- 包装形態 : 1 % BSA, 0.05 % NaN₃ 含有 PBS 1.0 mL に溶解したものを凍結乾燥
- 再生方法 : 精製水 1.0 mL 添加 (この時濃度は 100 µg/mL となります)
- 保存方法及び安定性 : 2~8 °C 保存 5年間安定
溶解後 -20 °C 保存 2年間安定
- 使用目的及び使用方法 : ウエスタン・ブロッティング 1~5 µg/mL にて使用可能
免疫沈降法 3~5 µg/test にて使用可能
FACS 解析 0.1~0.5 µg (1×10⁵ Cells あたり)にて使用可能
中和活性あり(KDR 発現細胞株において、20 ng/mL のリガンド結合に依存的な KDR のリン酸化を指標とした時、10 µg/mL の抗体添加により中和活性を確認)
*中和試験に用いる場合は、BSA と NaN₃ を含まない抗体(製品番号 10347F)をご用命ください。
- 特異性 : HUVEC を用いたウエスタン・ブロッティングにて確認